

ノートブック パソコン ソフトウェアの設定と説明

Windows 98 ソフトウェアの設定

Windows98用サポートCD	2
Windows98による自動再生	2
Windows98用ドライバ	3
1. ATIVGA	5
画面のプロパティによる設定	6
2. オーディオドライバ	8
3. オーディオプレイヤー	12
4. DirectX 7	14
5. タッチパッド	15
6. LANドライバ	16
LANドライバのインストール(手動)	17
ネットワークデバイスの設定	19
詳細設定	20
7. PC-cillin 98	21

Windows 98 ソフトウェアの説明 23

製品名:	ノートブックパソコンサポートCD
マニュアル改訂版:	1.00 J511-X
リリース日付:	2000年4月

Windows98用サポートCD

サポートCDにはNotebook PCにてMicrosoft社製Windows98(このマニュアルでは以下"Windows"と表記します)を使用するために必要なドライバやユーティリティを収録しています。このマニュアルではWindows上での標準的なシステム設定を段階的に解説しています。各アプリケーションの使用法は、インストール後にそれぞれのアプリケーションに付随しているオンラインヘルプを参照してください。サポートCDを挿入したときの表示を以下に示します。自動再生によるメニュー画面が表示されないときは、マイコンピュータにあるCD-ROMドライブのアイコン(2つのパーティションが表示される場合があります)をダブルクリックするか、サポートCD上のルートディレクトリにあるSETUP.EXEを実行してください(スタートメニューから実行することもできます)。

Windows98による自動再生



Windows98用ドライバ

以下はメニュー画面の上のマウスで選択できる各項目の解説です。サポートCDは常に改良されていますので、このユーザーマニュアルと一部相違している場合があります。文章中で引用されているドライバ名は実際にMS-Windowsのシステム上において表示される名前です。Windowsには、製品出荷時までにはアップデートされたすべてのデバイスドライバを備えている訳ではありません。そのため、本製品の付属サポートCDには、現在お使いになられているデバイスに最適なドライバを収録してあります。Windowsのデフォルトのドライバと置き換えてご使用ください。

1. VGA ドライバ(必須)

Notebook PCの内蔵ディスプレイを正しく動作させるためには、S3 Inc. Savage/MX w/MVディスプレイドライバをインストールしてください。ディスプレイドライバがインストールされると、解像度やカラー表示をディスプレイプロパティから変更することができます。これらを変更するには、デスクトップを右クリックしてプロパティを選択するか、コントロールパネルからディスプレイを選択します。ディスプレイの設定についての基本的な方法についてはこのセクションを参照してください。さらに詳細な情報が必要なときには、WindowsのマニュアルかWindowsヘルプをお読みください。

2. オーディオドライバ(推奨)

Notebook PCの内蔵オーディオを正しく動作させるために、ドライバをインストールしてください。各種のドライバにより、Vortex AU8810 PCI Audioは広範囲で豊かなオーディオを実現します。またVortex AU8810 Sound Blaster Pro EmulationによるSound Blasterの完全な互換性を実現、さらにボイスモデム用Wave Deviceによりオーディオ構成と内部モデムとの統合を可能にします。全てのオーディオ機能をWindowsから設定することができます。またこの機能のヘルプをWindowsのヘルプファイルやドキュメントに追加することができます。オーディオドライバをインストールすると、タスクバーのスピーカアイコンをダブルクリックするだけで音量調節することができます。その他の設定には、スピーカアイコンを右クリックしてオーディオプロパティを選択してください。

3. オーディオプレイヤー(オプション)

Aureal Vortex Playerをインストールします。Aureal Vortex Playerは、オール・イン・ワン型のマルチメディアコントロールセンターです。Vortex Playerは、オーディオを演奏したり、Aureal Vortexベースのオーディオハードウェアをコントロールするために使用します。Vortex PlayerはオーディオCD、コンピュータにあるオーディオファイル、インターネット上に公開されているオーディオファイルを演奏することができます。また、Vortex Playerはオーディオハードのコントロールもできます。Vortex Playerで音量調節、消音設定、イコライザー設定を行えます。

4. DirectX 7(推奨)

近代的マルチメディアソフトウェアアプリケーション用コーデシティDirectXのバージョン7をインストールします。Windows98は、コンピュータのマルチメディアへの対応を向上させるためにDirectXを使用します。DirectXにより、異なるタイプのマルチメディアを高品質で録音・再生したり、コンソール型コンピュータに比べてよりきれいな3-Dグラフィックを実現することができます。

5. ASUS PC Probe(オプション)

PC Prodelは、コンピュータシステムの重要なコンポーネントを監視する便利なソフトです。このソフトを使用すると、Notebook PCの管理が楽になります。

6. タッチパッド(推奨)

Notebook PCは内蔵・外部キーボードやPS/2マウスを完全にサポートしています。Notebook PCのタッチパッドは2ボタン・3ボタンPS/2マウスとほぼ互換ですが、デバイスドライバを使用することによってタッチパッド独自の機能を追加することができます。詳しくは、本ユーザーマニュアルの次のセクションにあるSoftware Referenceをご覧ください。ヘルプにアクセスするには、タスクバーのタッチパッドアイコンを右クリックし、ヘルプを選択してください。

7. LANドライバ(内蔵 Fast-Ethernetに必須)

内蔵 Fast-Ethernetを持つNotebook PCに必要なLANドライバをインストールします。内蔵 Fast-Ethernetをお持ちでない場合は、このインストールを省略してください。

8. PC-cillin 98 (オプション)

ウイルス対策ソフト"PC-cillin"をインストールします。日常的に使用しているソフトウェアはウイルスの危険にさらされています。Notebook PCに添付のサポートCDには非常に有力なウイルス対策ソフトが収録されています。既に何らかのウイルス対策ソフトをお持ちの場合はこの項目は省略しても構いません。

9. Hotkeyユーティリティ

ASUS Hotkeyをインストールします。ASUS Hotkeyは、プログラムやスクリプトを簡単に実行できるようにキー割り当てを変更するためのプログラムです。このプログラムでは、デフォルトのキーや、他のソフトやOS、Notebook PCのハードウェアで使用されているキー組み合わせを変更することはできません。

10. Read Me

このサポートCDやNotebook PCに関連した注意事項が書かれたテキストファイルを開きます。

11. Browse this CD

WindowsのExplorerを使って、このサポートCDの内容を見ることができます。

12. Technical Support Form

技術的な問題が発生して、技術サポートが必要になった場合に、技術サポート請求欄の空白に書き込んで印刷してください。技術サポートへの問い合わせが必要なときに使用してください。

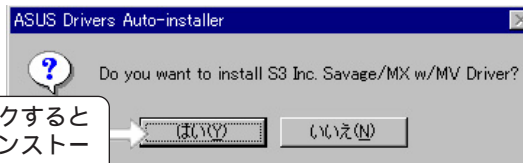
13. Exit

サポートCDのメニュー画面を閉じます。

1. ATI VGA



(1) サポートCDを挿入し、VGA Driverをクリックします。



(2) はいをクリックするとドライバのインストールを始めます。



(3) インストールが完了しました。はいをクリックするとコンピュータを再起動します。他のアイテムを続けてインストールする場合はいいえをクリックします。

画面のプロパティによる設定

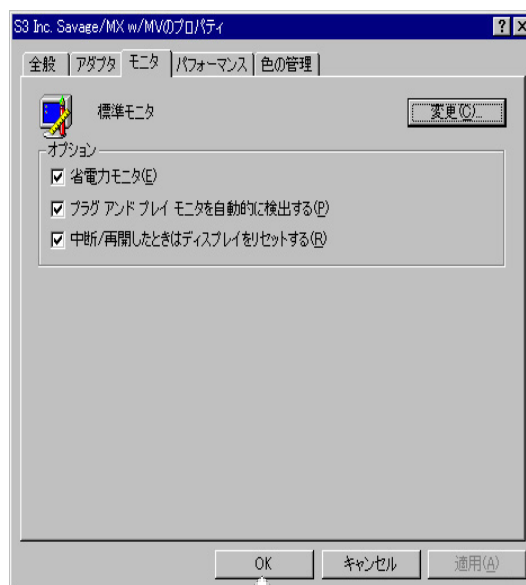
- (1) Windowsのデスクトップで右クリックメニューを表示させ、**プロパティ**をクリックします。
- (2) **設定**をクリックし、続いて**詳細**をクリックします



- (3) **モニタ**を選択し、**変更**をクリックします。



- (4) 製造元は**標準モニタの種類**を選択、モデルは**ラップトップ ディスプレイ パネル(1024x768)**を選択します
OKをクリックすると終了し、適切な画面に更新されます。

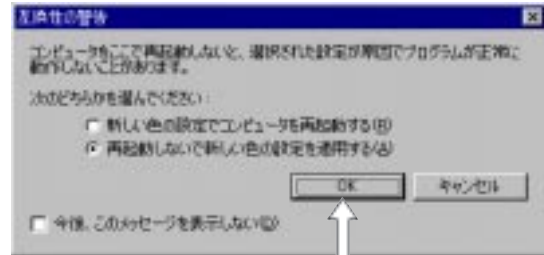


- (5) **OK**をクリックし、画面のプロパティに戻ります。

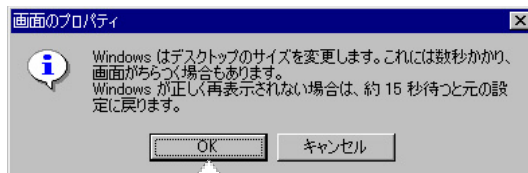
画面のプロパティによる設定(続き)



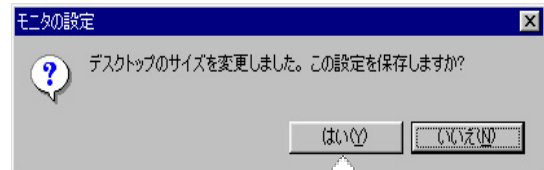
- (6) 画面の領域をバーをスライドさせて1024x768ピクセルを選択し、色は最大発色数を選択してOKをクリックします。
OKをクリックして続行します。



- (7) 警告画面が表示されます。「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選択します。
OKをクリックして続行します。



- (8) OKをクリックするとデスクトップサイズが変更されます。



- (9) はいをクリックすると設定が保存され、コンピュータを再起動した後にこれらの設定が全て有効になります。

2. オーディオドライバ

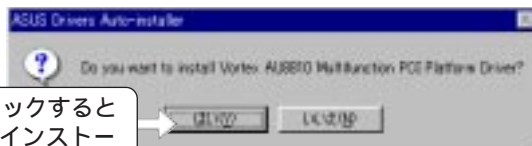
デバイスマネージャにて"PCI Multimedia Audio Device"を表示させ、クエスチョンマークが表示される場合は、Notebook PCの内臓のオーディオが正しくインストールされていません。このような時は以下の手順に従ってオーディオドライバをインストールしてください。



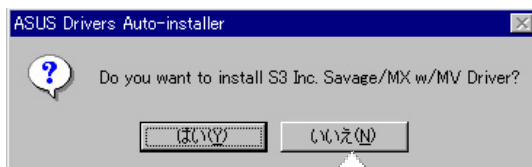
オーディオドライバのインストール



(1) サポートCDを挿入し、オートラン画面からAudio Driverをクリックしてください。



(2) はいをクリックするとドライバのインストールを始めます。



(3) インストールが完了しました。はいをクリックするとコンピュータを再起動します。他のアイテムを続けてインストールする場合はいいえをクリックします。

オーディオドライバが正しくインストールされたら

Notebook PCの内蔵オーディオが正しくインストールされたら、デバイスマネージャのサウンド、ビデオ、ゲームのコントローラ中に次のものが表示されます。

- Vortex AU8810 PCI Audio

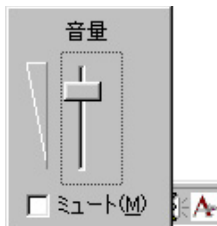


オーディオのコントロール

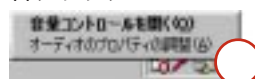
タスクバーにスピーカーのアイコンが表示されている場合にマウスの左クリックで選択するとメインのボリュームが表示されます。右クリックするとより詳細な音量コントロールとオーディオのプロパティを選択できます。

注：Windowsのオーディオコントロールが無反応な場合には、ハードウェアオーディオの設定(CD/DVD-ROMドライブの音量つまみで調節)が適切な音量になっているかどうかを確認してください。

左クリック



右クリック



オーディオドライバのインストール(手動)

先の「オーディオドライバのインストール」に示した「ハードウェアの追加」ウィザードで、新しいオーディオデバイスを発見できなかった場合は、オーディオは正しく動作しません。そのような場合は以下の手順に従って手動でオーディオドライバをインストールしてください。

(1) デスクトップ上の**マイコンピュータ**を右クリックします。

(2) **プロパティ**を選択します。

(3) **デバイスマネージャ**タブをクリックします。

(4) **その他のデバイス**が**サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ**をリストから選択してダブルクリックします。

(5) **PCI Multimedia Audio Device**が、エラーを含む他のオーディオデバイスをクリックします。

(6) **削除**をクリックします。

(7) **OK**をクリックし、デバイスが削除されたことを確認します。

(8) デバイスマネージャで**更新**をクリックするとプラグ&プレイ機器の自動検出が行われます。

(9) **次へ**をクリックすると新しいドライバを探します。



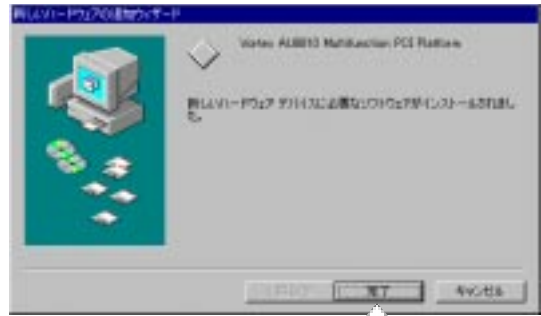
(10) 使用中のデバイスに最適なドライバを検索するを選択し、次へをクリックします。



(11) サポートCDの入っているCD-ROMドライブのパス名¥AUDIO¥WIN9X¥DRIVERを入力します。次へをクリックすると最適なドライバが選択されます。



(12) 次へをクリックすると推奨ドライバがインストールされます。

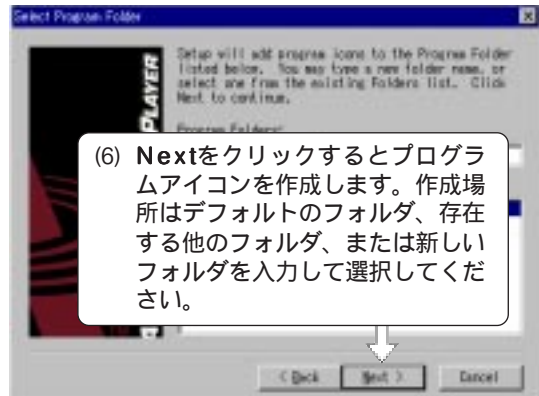
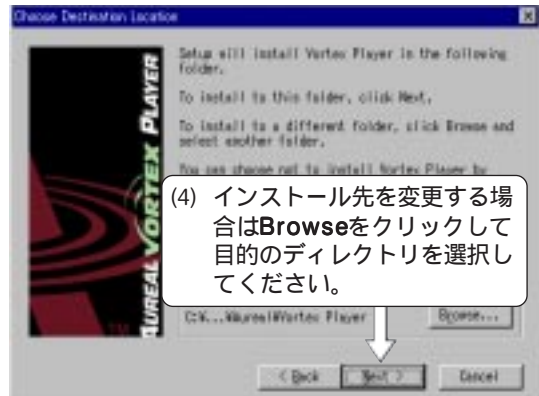


(13) インストールが完了したら、完了をクリックします。

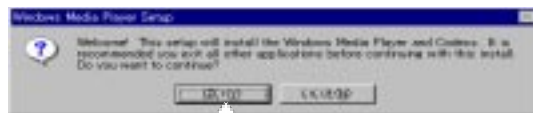


(14) 他のアイテムを続けてインストールする場合はいいえをクリックします。

3. オーディオプレイヤー

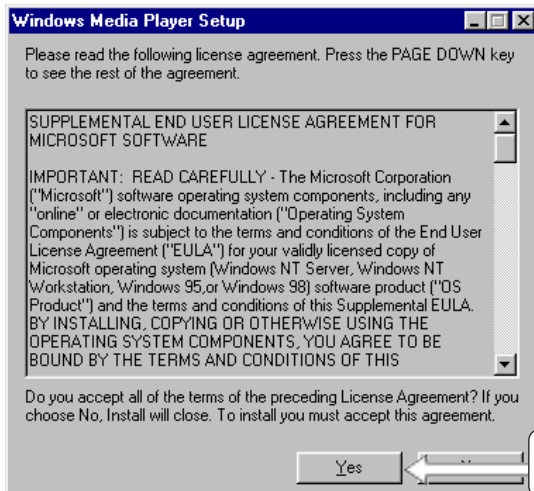


3. オーディオプレイヤー(続き)



(8) はいをクリックすると
Media Player & Codecsをイ
ンストールします。

(7) 現在の設定を読み、Next
をクリックします。

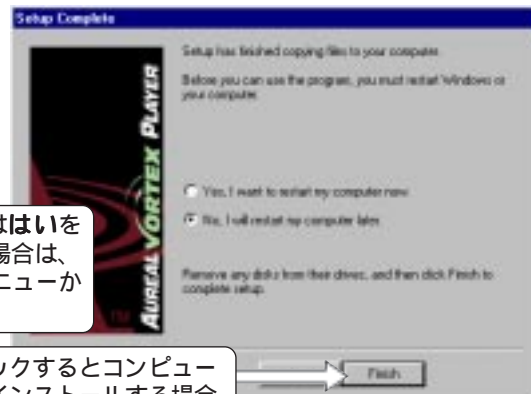


(10) OKをクリックすると、デフォルトの
インストールを使用します。

(9) 使用許諾を読み、Yes
をクリックします。



(11) デスクトップにショートカットを作製する場合ははいを
クリックします。ショートカットを作製しない場合は、
いいえをクリックし、スタート プログラムメニューから
ソフトウェアを実行します。



(12) インストールが完了しました。Yesをクリックするとコンピュー
タを再起動します。他のアイテムを続けてインストールする場
合はNoをクリックします。インストールが完了したらFinishをク
リックします。

4. DirectX 7



(1) サポートCDを挿入し、DirectX 7をクリックしてください。



(2) 使用許諾を読み、はいをクリックします。

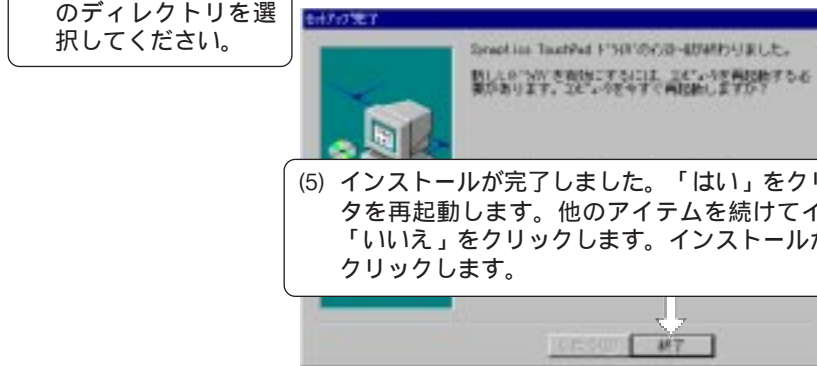
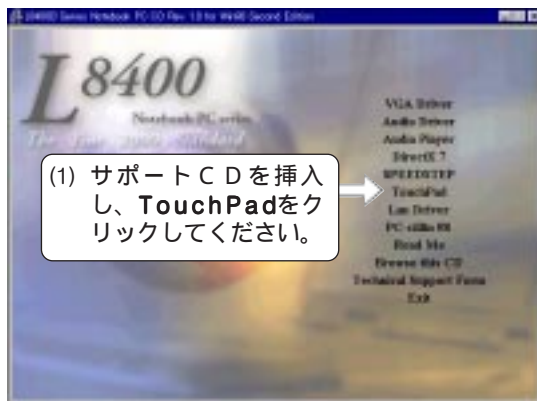


(3) DirectX の再インストールをクリックするとインストールが開始されます。



(4) インストールが完了しました。OKをクリックするとコンピュータを再起動します。
注：再起動は省略できます。

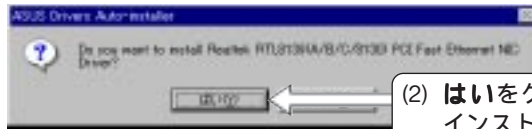
5. タッチパッド



6. LANドライバ



(1) サポートCDを挿入し、LAN Driverをクリックしてください。



(2) はいをクリックするとドライバのインストールが始まります。



(3) インストールが完了しました。はいをクリックするとコンピュータを再起動します。他のアイテムを続けてインストールする場合はいいえをクリックします。

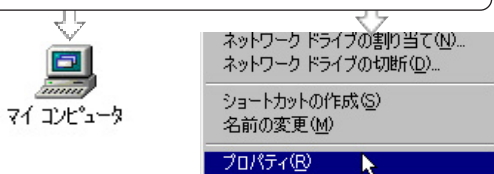
7. LANドライバ(続き)

LANはLocal Area Networkを意味します。このNotebook PCに内蔵されているネットワークデバイスはFast-Ethernetネットワークと互関性を持っているので、本マニュアルではLANはFast-Ethernetと同義語として扱います。

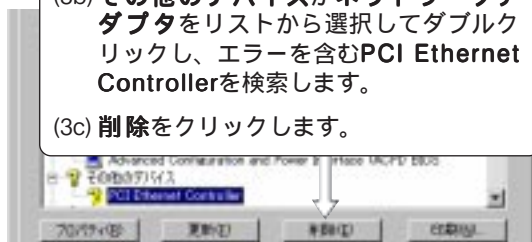
LANドライバのインストール(手動)

起動時に「新しいハードウェアの追加」のダイアログボックスが表示されたら、手順(6)から始めてください。ダイアログが表示されなかったりネットワークに接続できない場合は、手順(1)から始めてください。

- (1) デスクトップ上のマイコンピュータを右クリックします。
- (2) **プロパティ**を選択します。



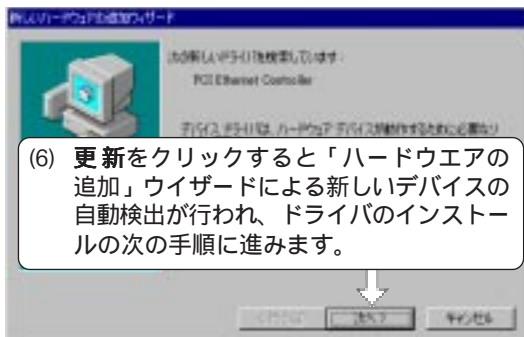
- (3a) **デバイスマネージャ**タブをクリックします。
- (3b) **その他のデバイス**か**ネットワークアダプタ**をリストから選択してダブルクリックし、エラーを含む**PCI Ethernet Controller**を検索します。
- (3c) **削除**をクリックします。



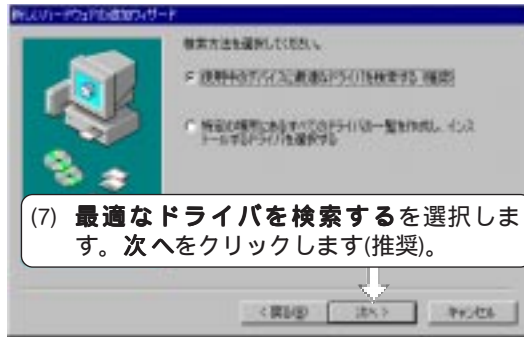
- (4) **はい**をクリックし、デバイスが削除されたことを確認します。



- (5) 再起動を求められたら**いいえ**をクリックします。

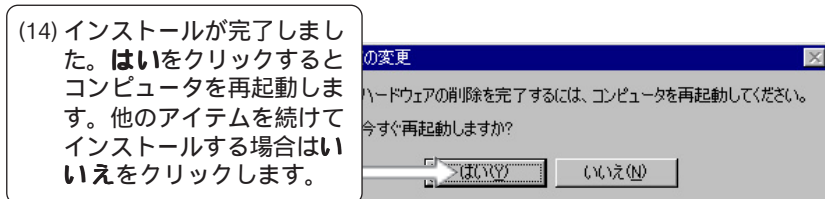
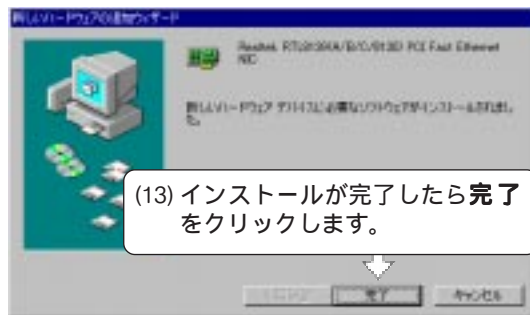
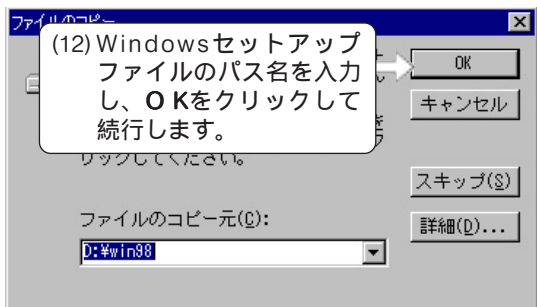
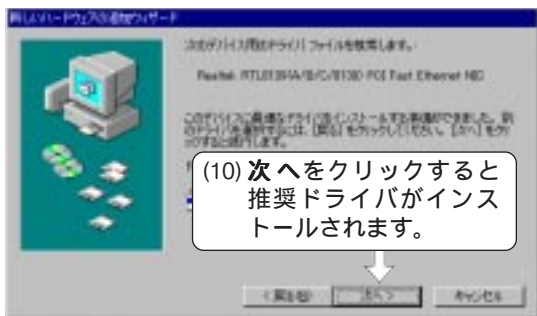
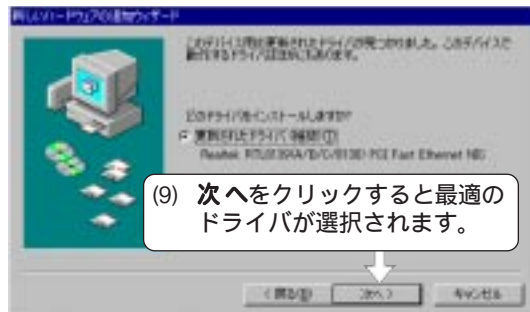


- (6) **更新**をクリックすると「ハードウェアの追加」ウィザードによる新しいデバイスの自動検出が行われ、ドライバのインストールの次の手順に進みます。



- (7) **最適なドライバを検索する**を選択します。次へをクリックします(推奨)。

7. LANドライバ(続き)



ネットワークデバイスの設定

ネットワークデバイスでは、10Mbpsと100Mbpsの両方で送受信を行うことができます(full-duplexing時)。full-duplexingを利用するには、full-duplexing対応ハブまたはスイッチが必要です。

ネットワークデバイスは、ハブやスイッチにfull duplexかhalf duplexのどちらのモードで通信を行うかを確認する機能が追加されています。これをauto-negotiationと呼びます。Duplex Modeを自動にするには、auto-negotiation対応ハブまたはスイッチが必要です。このようなハブやスイッチをお持ちでなくてfull duplexを実行する場合は、Duplex ModeをFullに、さらにスピードパラメータを100 Mbpsと10 Mbpsの両方に設定してください。

変換アダプタの設定

- (1) デスクトップのネットワークアイコンを右クリックし、(2) プロパティを選択します。



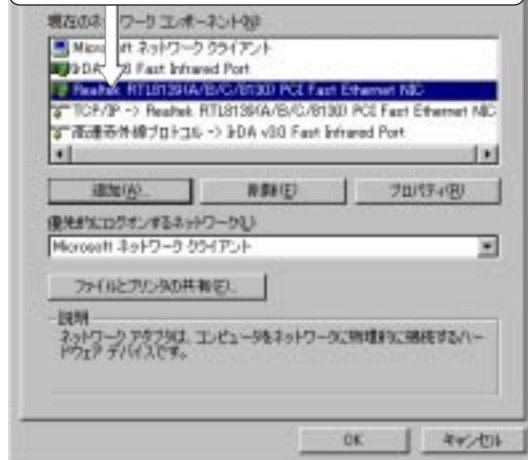
ネットワーク
コンピュータ

ネットワーク ドライブの割り当て(N)...
ネットワーク ドライブの切断(D)...

ショートカットの作成(S)
名前の変更(M)

プロパティ(P)

- (3) Realtek RTL8139(A/B/C/8130) PCI Fast Ethernet NICをダブルクリックします。



(4) **バインド**タブをクリックしてプロトコルの有効/無効を設定します。



(5) **詳細設定**タブをクリックしてリンク速度などの項目を設定します。



詳細設定

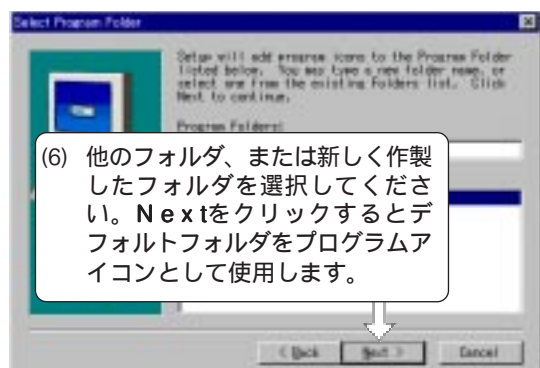
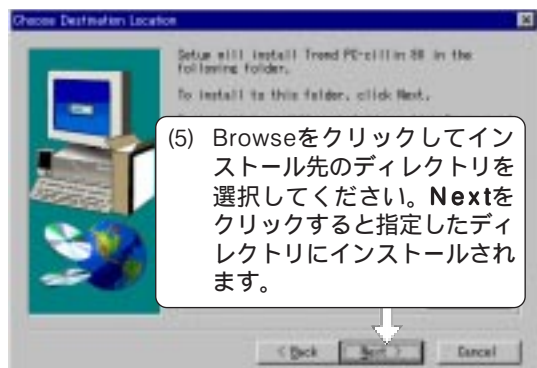
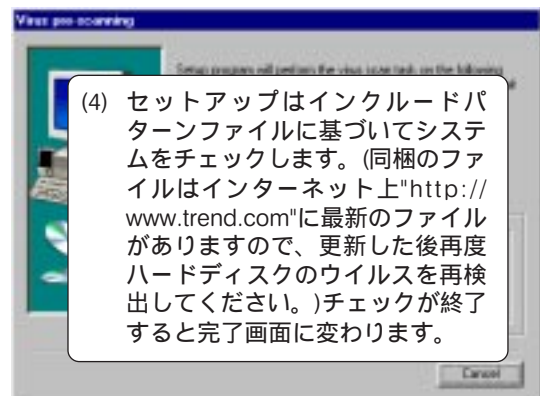
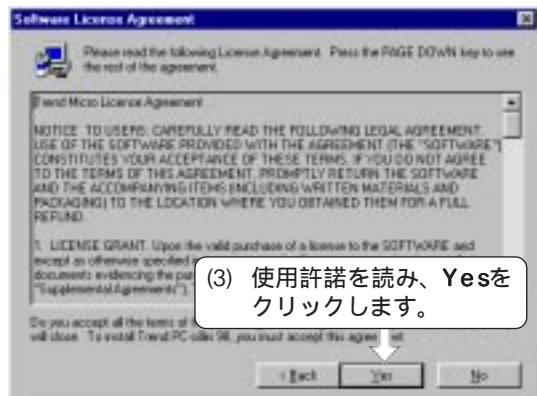
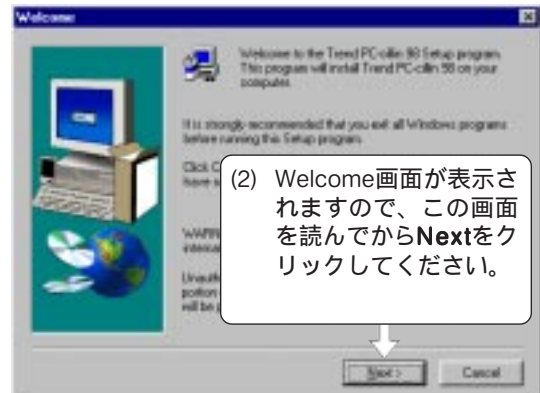
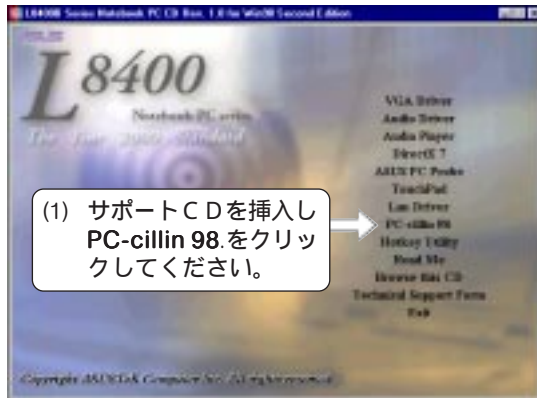
Link Speed/Duplex Mode

Full Mode (Full-Duplex): 送受信を同時に行います。このモードでは、20 bit/secまたは200 bit/secの通信速度によりネットワーク接続性能を向上します。full duplex対応スイッチをお持ちの場合のみfull duplexモードに設定してください。

Half Mode (Half-Duplex): 一回に一つの通信作業を実行します。送受信の通信速度は10 bit/secまたは100 bit/secです。

Auto Mode (Auto Detect): 送受信の通信速度をfull(20 bit/secまたは200 bit/sec)にするか、half(10 bit/secまたは100 bit/sec)するかを、ハブやスイッチに交渉します。デフォルトではこのモードが設定されています。このモードは推奨設定です。

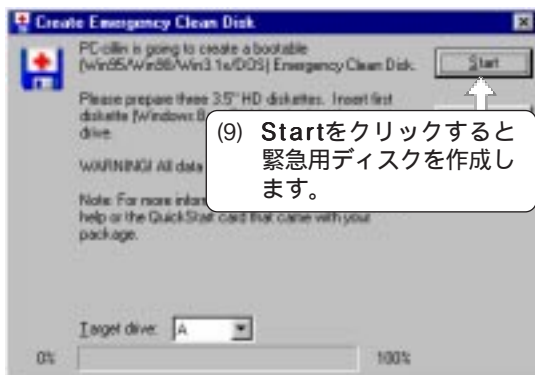
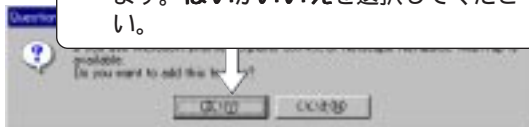
7. PC-cillin 98



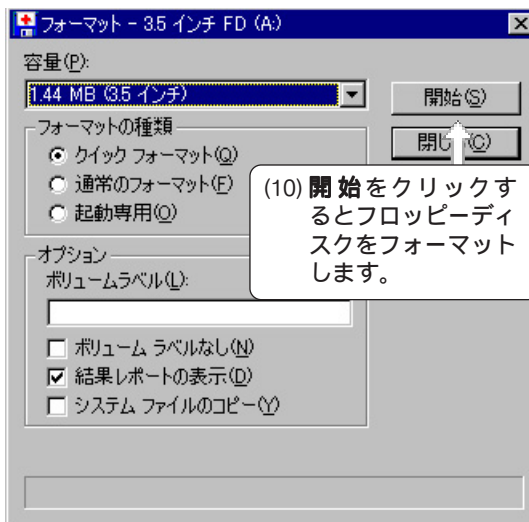
(7) アクティブデスクトップのインターネットチャンネルの予約にPC-cillinを追加すると更新があった場合通知を受けることができます。はいかいいえを選択してください。



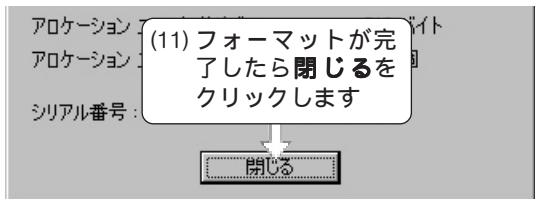
(8) インターネットブラウザにPC-cillinアンチウイルスプロテクションを追加できます。はいかいいえを選択してください。



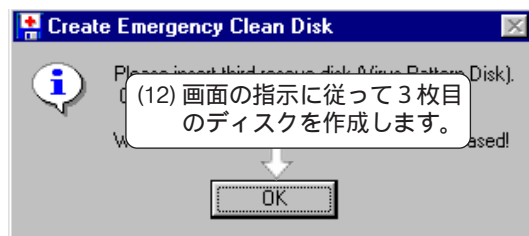
(9) Startをクリックすると緊急用ディスクを作成します。



(10) 開始をクリックするとフロッピーディスクをフォーマットします。



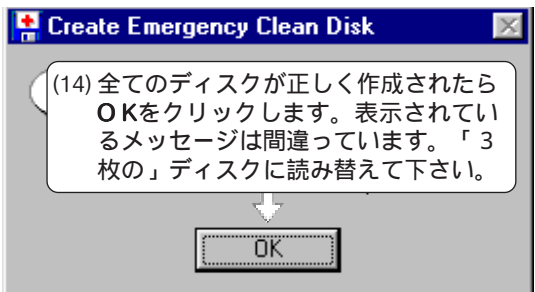
(11) フォーマットが完了したら閉じるをクリックします



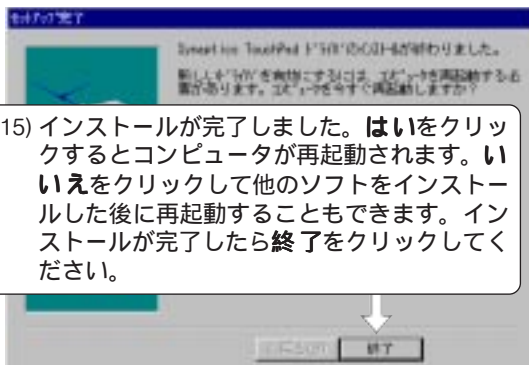
(12) 画面の指示に従って3枚目のディスクを作成します。



(13) 画面の指示に従って2枚目のディスクを作成します。



(14) 全てのディスクが正しく作成されたらOKをクリックします。表示されているメッセージは間違っています。「3枚の」ディスクに読み替えて下さい。



(15) インストールが完了しました。はいをクリックするとコンピュータが再起動されます。いいえをクリックして他のソフトをインストールした後に再起動することもできます。インストールが完了したら終了をクリックしてください。

**ノートブック パソコン
ソフトウェアの説明**

WINDOWS 98

目次

VGA DRIVER	27
デュアルディスプレイ設定	28
ディスプレイの調整	28
外部モニタを有効にする	29
色の設定	29
AUDIO PLAYER	31
Aureal Vortex Player の紹介	32
サポートするメディアタイプ	32
Vortex Playerの起動	33
Vortex Playerのローディング	34
Vortex Playerによるオーディオ再生	34
オーディオソースを手動でオープンする	34
Local Audio Sources	34
Playerからファイルの場所を手動で入力する	34
Playerにローカルファイルをドラッグアンドドロップする	34
Windowsエクスプローラにてファイルをダブルクリックする	35
インターネット上のファイルを再生する	35
オーディオCDを再生する	35
Vortex Playerを閉じる	37
バージョンアップについて	37
トラブルシューティング	37
CDが自動再生されない	37
ファイルが自動再生されない	37
TOUCHPAD	39
Synapticsタッチパッド機能の概要	40
ボタンを使用しないパッドのタッピング	40
ボタンを使用しないウインドウやその他の対象のドラッグ	40
タッチ感度の調節	41
ボタンやタップのカスタマイズ	41
タイピング中にポイントされるアクシデントの防止	42

スクロールバーを使用しない文書のスクロール	42
文書の拡大・縮小、移動	42
ポインタを大きく動かす	43
Fine Tune the Pointer Movement	43
アクセサリ	43
More About the タッチパッド	43
スクロール	44
ボタンの動作	45
エッジモーション	46
タッチ	47
その他の機能	48
よくある質問	49
PC-CILLIN 98	51
PC-cillin 98の特徴	52
コンピュータウィルスって何?	53
ウィルススキャンの方法	53
発見したウィルスに対する処置	54
ウィルスパターンファイルって何?	54
Real-time Monitor	55
WebTrap	55
Manual Scan	55
Scan Window	56
Manual Scan	56
APPENDIX	57
新しいハードディスクドライバを使う	58
起動ディスクの作成	58
FDISK.EXEユーティリティの使用	58
ハードディスクドライブの初期化	58
Save-to-Diskの使用	59

Save-to-Diskファイルの作成	59
MS-DOSによるCD-ROMサポート	60
Microsoft Windows 98	61
赤外線接続に関する注意	62
接続に関する規約（Notebook PCとモデム）	63
FCC規約	63
適合についての記述（Notebook PCとモデム）	64
Canadian Department Of Communications (CDOC):	64

VGA DRIVER

収録項目：

デュアルディスプレイ設定

ディスプレイの調整

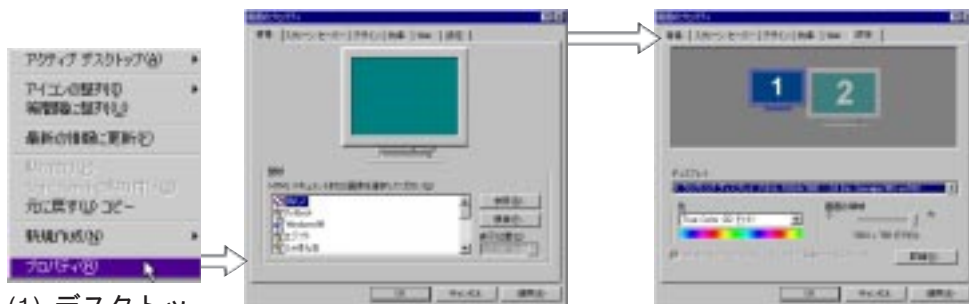
外部モニタを有効にする

色の設定

デュアルディスプレイ設定

画面のプロパティを開いたときに2つのディスプレイが表示されている場合、それぞれの解像度、色数、モニタの種類を独立して設定することができます。デュアルディスプレイを使用すると以下のような2つの機能が実現できます。

- ・ **デュアルアプリケーション** -それぞれのディスプレイで異なったアプリケーション(グラフィックスやビデオ)を独立して動作させることができます。例えば、片方のディスプレイでスプレッドシートを表示させ、もう片方でプレゼンテーションを行う、などのことが可能になります。
- ・ **デュアルビュー** - 1つめのディスプレイで矩形選択した領域を画面いっぱいに表示させ、もう片方で元のままの画面を表示させる、などのことが可能になります。



(1) デスクトップで右クリックし、プロパティを選択します。

(2) **設定タブ**をクリックし モニタ1(ノートPCの液晶モニタ)・モニタ2(15ピンVGAポートに接続した外部モニタ)のいずれか一方をクリックします。



注：デュアルディスプレイ設定はモニタが接続されていなくても設定を行うことができますが、デュアルアプリケーションやデュアルビューを行う際には、ノートPCのVGAポートに外部モニタを接続する必要があります。

ディスプレイの調整

どちらか一方のディスプレイにマウスポインタを合わせ、それぞれのディスプレイを便利な構成になるようにドラッグして配置することができます。この例では、2台目のディスプレイは一台目のディスプレイにぶらさがるような領域でアクセスすることができます。



外部モニタを有効にする

ノートPCの液晶モニタと外部モニタの切り替えはLCD/モニタファンクションキー<Fn><F8>によって行います。外部モニタの有効/無効はディスプレイ設定ソフトウェアによって行うこともできます。



(1) デスクトップのプロパティの設定タブから詳細ボタンをクリックします。

(2) S3DuoVueタブをクリックします。

Not Connected



注：有効/無効は接続されているディスプレイでのみ設定できます。

AUDIO PLAYER

収録項目：

Aureal Vortex Player の紹介

サポートするメディアタイプ

Vortex Playerの起動

Vortex Playerのローディング

Vortex Playerによるオーディオ再生

バージョンアップについて

トラブルシューティング

Aureal Vortex Player の紹介

Aureal Vortex Playerはオールインワンタイプのマルチメディアコントロールセンターです。

Vortex Player を使用してオーディオ再生をしたり、オーディオハードウェアをAureal Vortexによってコントロールすることができます。

Vortex Player ではオーディオCDや、コンピュータ上にある音声ファイル、インターネット上にある音声ファイルなど、ほとんどの音声フォーマットを再生することができます。

Vortex Player からオーディオハードウェアをコントロールすることができます。Vortex Player を使用してボリュームやミュート、イコライザーの設定をすることができます。

サポートするメディアタイプ

Vortex Playerでは多種多様なオーディオ素材を再生することができます。

コンパクトディスクデジタルオーディオトラック

Vortex PlayerではコンピュータのCDドライブを使用してオーディオCDを再生することができます。CDが挿入されると、Windowsエクスプローラ上ではオーディオトラックをファイルとしてリストが表示されます。

これらのファイルの拡張子は以下のとおりです .cda

デジタルオーディオファイル

何らかの形式で録音されたオーディオファイルは、再生時にはコンピュータ上に存在する必要があります。インターネット上にあるファイルを再生する場合でも、再生時には一時的にコンピュータ上にファイルがダウンロードされます。必要がなくなるとこれらのファイルは自動的に削除されます。

これらのファイルの拡張子は以下のとおりです。 .wav, .snd, .au, .aif, .aifc and .aiff

ミュージカルインストゥルメントファイル

これらのファイルは楽器や楽譜の情報を含んだファイルです。これらのファイルは再生時にはコンピュータ上に存在する必要があります。インターネット上にあるファイルを再生する場合でも、再生時には一時的にコンピュータ上にファイルがダウンロードされます。必要がなくなるとこれらのファイルは自動的に削除されます。

これらのファイルの拡張子は以下のとおりです。 .mid, .midi and .rmi

MPEG Layer3 圧縮デジタルオーディオファイル

これらのファイルは、どんな音声でも含むことができますが、ほとんどのファイルは音楽を含むファイルです。コンピュータ上にあるファイル、インターネット上にあるファイルを再生することができます。インターネットから直接演奏することもでき、再生のためにダウンロードする必要もありません。

これらのファイルの拡張子は以下のとおりです .mp3 and .m3u

Real Media オーディオファイル

これらのファイルは、どんな音声でも含むことができますが、ビデオやテキスト情報を含んでいるファイルもあります。ハードディスク上に置くこともできますが、ほとんどの場合これらのファイルはインターネット上に置かれており、再生する場合にダウンロードする必要があります。このバージョンのVortex Playerは音声のストリーム再生をのみサポートしています。

これらのファイルの拡張子は以下のとおりです。 .ra, .rm, .ram and .rmm

Microsoft ストリーミングメディアファイル

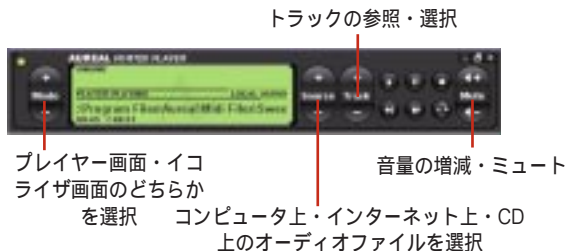
これらのファイルは、どんな音声でも含むことができますが、ビデオやテキスト情報を含んでいるファイルもあります。ハードディスク上に置くこともできますが、ほとんどの場合これらのファイルはインターネット上に置かれており、再生する場合にダウンロードする必要があります。

これらのファイルの拡張子は以下のとおりです。 .asf .asx

Vortex Playerの起動



タスクバーのVortexアイコンをダブルクリックして、再生ソフトを起動します。



Vortex Playerのローディング

Vortex Playerをロードするにはいくつかの方法があります。第一は、Windowsのスタートメニューにおいてメニュー入力を選択する方法です。第二は、Vortex Playerトレイアイコンをダブルクリックする方法です。この2つの方法のどちらでもアプリケーションを起動できます。アプリケーションがロードされ、ファイルをオープンして演奏する準備ができています。

上記に加えて、エクスプローラでファイルをクリックした場合や、Internet ExplorerでURLをクリックした場合、CDドライブにオーディオCDを挿入した場合などVortex Playerでサポートしている音声のソースを選択した場合に自動起動される場合があります。

Vortex Playerによるオーディオ再生 オーディオソースを手動でオープンする

Vortex Playerで再生するためにはオーディオソースを選ぶ必要があります。オーディオソースをオープンするには2つの方法があります：ひとつは手動、もうひとつは自動的なものです。手動でオーディオソースをオープンするには次のステップに従ってください。

- 1) スタートメニューから選ぶ・トレイからアイコンをダブルクリックする等してVortex Playerをロードします。
- 2) コマンドメニューをクリックし、Openを選択してください。

Media Openウィンドウで演奏するメディアのフォルダを指定します。オーディオソースは3種類あります；コンピューター上にあるファイル、インターネット上にあるファイル、そしてCDドライブに挿入されたオーディオCDです。Media Openウィンドウはそれぞれのメディアに合わせて3つのエリアがあります。ローカルファイルの場合はブラウズ機能を用いてフォルダの場所を入力します。最近使用したファイルを選択することもできます。インターネット上のファイルの場合にはURLを入力します。最近使用したURLを選択することもできます。

CDの場合はドライブの場所を入力します。もしくはリストから選択することもできます。

ソースを選択すると、Openボタンが有効になり、マウスカーソルでポイントすることができます。メディアのソースにより異なるバリエーションは以下に詳細を示します。

Local Audio Sources

Vortex Playerはコンピューター上に保存されているオーディオファイルを演奏することができます。コンピュータシステム上のファイルの場所をしていするには以下のステップに従ってください：

Playerからファイルの場所を手動で入力する

- 1) スタートメニューから選ぶ・トレイからアイコンをダブルクリックする等してVortex Playerをロードします。
- 2) コマンドメニューをクリックし、Openを選択してください。
- 3) Browseをクリックし、ファイルの場所を入力します。

Playerにローカルファイルをドラッグアンドドロップする

- 1) Windowsエクスプローラでファイルの場所を開きます。
- 2) Windowsエクスプローラと共にVortex Playerが見えるような場所に配置します。
- 3) ファイルをVortex Playerの位置までドラッグします。
- 4) Vortex Player上ならどの位置にでもファイルをドロップすることができます。

Windowsエクスプローラにてファイルをダブルクリックする

- 1) Windowsエクスプローラでファイルの場所を開きます。
- 2) ファイルをダブルクリックします
- 3) Vortex Playerが自動的にロードされ選択したファイルの演奏が始まります。

ファイルが自動的に再生されない場合、または他のアプリケーションで再生された場合は別の項目で説明します。

インターネット上のファイルを再生する

Vortex Playerはインターネット上にあるファイルを再生することができます。演奏する場合はインターネット上のファイルの場所を指定します。以下のステップに従ってください。

Playerからインターネット上のファイルの場所を手動で入力する

- 1) スタートメニューから選ぶ・トレイからアイコンをダブルクリックする等してVortex Playerをロードします。
- 2) コマンドメニューをクリックし、Openを選択してください。
- 3) インターネット上のURLを入力します。

オーディオCDを再生する

Vortex PlayerはCDドライブ上のオーディオCDを再生することができます。トレイのアイコンをダブルクリックして再生することもできます。

CDがすでにドライブに挿入されている場合

- 3) スタートメニューから選ぶ・トレイからアイコンをダブルクリックする等してVortex Playerをロードします。
- 4) ソースはCDを選択します。
- 5) Playボタンを押します。

CDがドライブに挿入されていない場合

- 1) CDをドライブに挿入します。
- 2) Vortex Playerが自動的に起動し、数秒でCDの演奏が始まります。

CDが自動的に演奏されない場合や、他のアプリケーションで演奏される場合は別の項目で説明します。

以前聴いたあの曲

Vortex Playerは最近聞いたファイルの情報を持っています。それらの中から一曲を選択しようとする場合は以下のステップを実行してください：

最近聞いたファイルを選択する

- 1) スタートメニューから選ぶ・トレイからアイコンをダブルクリックする等してVortex Playerをロードします。
- 2) Source selectorをクリックして聞きたいファイルのモードを切り替えてください。
- 3) Entry selectorで最近聞いたファイルのリストからファイルを選んでください。

Vortex Playerによるハードウェアのコントロール

Vortex PlayerではAureal Vortexに適合するハードウェアをコントロールすることができます。Vortex Playerから音量の調節、ミュートの設定、10バンドのグラフィックイコライザーを使用することができます。

音量のコントロール

音量を調節するには、Playerの一番右にある音量調節ボタンをクリックします。現在の音量はディスプレイパネルに表示されます。

ミュート

スピーカーの音を消すには、Playerの一番右にあるミュートボタンをクリックします。ミュートされるとディスプレイが点滅します。

注：このミュートはマスターミュートで、他のアプリケーションでも音が出なくなります。

Adjusting the Equalization

Vortex 10バンドイコライザーの調整をするには、Playerのmode + かmode - ボタンをクリックしてプレイヤーとイコライザーを切り替えるか、Modeボタンを押してリストからEqualizerを選択します。

イコライザーモードにすると、プリセットイコライザーモードから選択するか、ユーザーモードを使用してスライダで調節するかを選択できます。

Disable modeにすると、イコライザー機能を使用できなくなります。

注：Disable modeではオシロスコープやスペクトラムアナライザーは機能しなくなります。

Vortex PlayerでCDタイトル情報を取得する

Vortex Playerでは再生中のCDのアーティスト、アルバム、トラックタイトルを検索する為のCDDDBサービスを利用することができます。コンピュータがインターネットに接続されている場合、Vortex Playerを使用してCDを演奏するといつでもこの情報を検索することができます。一旦CDのタイトル情報が検索されると、そのCDの情報はコンピュータ上に蓄積されますのでまた同じCDを聞く際にはインターネットに接続しなくてもタイトル情報が表示されます。

CDDDB(www.cddb.com)やそのデータベースについて詳しくなくても、そのコンセプトは単純明快です。商用の音楽CD(音楽以外も含む)に保存されている情報はトラック毎の再生時間とその目次(TOC -Table of Contents)のリストだけです。ディスクタイトル、アーティスト、トラックタイトル、発売元をコンピュータ上に表示できる情報は収録されていませんが、CDDDBを使用可能なプレイヤーでCDをスキャンしてTOCを抽出し、CDDDBの巨大なデータベース(400,000枚以上のディスクと450万本のトラックを登録)でTOCを元にディスクの情報を参照することができます。プレイヤーはアルバムの最初の曲を聴く頃には既にCDDDBデータベースからタイトルとトラック情報を取得しています。もしディスクの情報がCDDDBデータベースになかったり間違っていたりした場合はそのCDの情報をあなたがCDDDBサービスに提供することができます。

Vortex Playerを閉じる

すぐに実行しますか？Vortex Playerはウインドウの右上の角の×ボタンをクリックすることで閉じます。またはコマンドメニューからCloseを選んで終了することもできます。

バージョンアップについて

- 1) メインメニューでCheck for Upgradeをクリックします。(このチェックを実行するためにはインターネットに接続されている必要があります)
- 2) もっと新しいバージョンが存在する場合、Upgrade Nowをクリックすると新しいバージョンがダウンロードされインストールされます。

注：Vortex Playerは定期的に、そして自動的にアップグレードについて調べています。アップグレードが利用できる状態になるとアップグレードダイアログボックスが現れ、それをクリックすると新しいバージョンをダウンロードしてインストールすることができます。

トラブルシューティング

この章ではVortex Playerを使用する上での問題を解決するためのいくつかの情報を提供します。

CDが自動再生されない

- ・ CD-ROMが自動再生するようにセットアップされているか確認してください。
- ・ デバイスマネージャを確認してください。
- ・ 自動挿入通知が使用しているCDで可能になっているか確認してください。
- ・ Vortex PlayerがオーディオCDのデフォルトのプレイヤーになっているか確認してください。

ファイルが自動再生されない

- ・ ファイルタイプはサポートされているものか確認してください。
- ・ Vortex PlayerのオプションがAutomatic Playback設定になっているか確認してください。

TOUCHPAD

収録項目：

タッチパッド機能の概要

スクロール

ボタンの動作

エッジモーション

タッチ

その他の機能

よくある質問

Synapticsタッチ패드機能の概要

Synapticsタッチパッドは、時代遅れのマウスより非常に有用なデバイスです。タッチパッドは普通のマウスの全ての機能を備え、さらにそれに新たな機能を持っています。

- ・ ボタンを押さずパッドを叩くだけ
- ・ アイコンやウィンドウ等をドラッグする際にもボタンが不要
- ・ 調節可能なタッチ感度
- ・ ボタンとタッピングのカスタマイズが可能
- ・ タイピング中にポイントされるアクシデントを防止(手のひらに注意)
- ・ スクロールバーを使用せずに文書をスクロール可能
- ・ 文書の拡大・縮小、移動が可能
- ・ ポインタの移動量を大きくすることが可能
- ・ ポインタの動作は細かく調整が可能

ボタンを使用しないパッドのタッピング

パッドの表面を軽く叩くと、マウスやタッチパッドボタンの左クリックと同じ動作をします。軽く叩くだけでよいので、通常のボタン操作を速く行うことに比べればはるかに便利です。ダブルクリックするには軽く二回叩くだけです。軽く素早く叩く動作がもっとも適しています。強く叩いたり、非常に遅く叩いたりすると動作しない場合があります。

ボタンを使用しないウィンドウやその他の対象のドラッグ

ポインターを動かす間、マウスやタッチパッドボタンを押し続ける必要のある動作(例えばアイコンやウィンドウをスクリーン上で移動する場合)をドラッグと呼びます。ちょうどクリックやダブルクリックのような動作でボタンを使用せずにドラッグすることができます。

オブジェクトの移動やドラッグ

(タッチパッドボタンの左ボタンを押しつづけることに等しい)

- 1) ポインタを対象の位置に移動させ、2回タップします。2度目のタッピングの際に指を置いたままにします。動作は下 - 上 - 下といった感じです。この動作はタップ-and-a-halfと呼ばれる場合があります。
- 2) すぐにそのまま指をタッチパッドの表面で滑らせて対象をドラッグします。
- 3) 指を離してドロップします。

タップ-and-a-Half

対象をドラッグしている最中にパッドの縁に指が到達してしまう場合はどうするのでしょうか。SynapticsタッチパッドはLocking Dragsと呼ばれる機能を持っています。これは、指を離してもドラッグをしたままの状態を維持する機能です。この機能を使用して、スクリーンを横切るような長いドラッグも指を何度か動かすことで可能になります。Locking Dragの動作を終えるためにはもう一度パッドを叩きます。Synapticsタッチパッドには、エッジモーションと呼ばれる長い距離のドラッグを補助する機能もあります。長い距離のポインタの移動については詳細を参照してください。

タップ、ドラッグ、Locking Drags機能はマウスのプロパティの中にあるタッチパッドのプロパティで設定します。

タッチ感度の調節

タッチ感度スライダー^rを調節して、タッチパッドが感応する指の圧力をコントロールすることができます。このスライダは、マウスのプロパティの中のタッチパッドプロパティページにあります。

タッチ感度の設定で値を高くする(より敏感にする)と、タッチパッドはわずかな接触でも感知します。敏感な反応を望まないのであれば、値を低くしてみてください。値を低くする(より敏感でない)設定では、ポインタを動かすためにはタッチが硬くなります。一般的に、軽いタッチのほうが効果的です。

ボタンやタップのカスタマイズ

タッチパッドには従来のマウスと同じように2つのボタンを持っています。このボタンの動作をカスタマイズすることができます。

パッドの中央を軽くたたく動作は左クリックと同等の働きをしますが、ボタンとは別にパッド表面の4隅の角にそれぞれ別な動作を割り当てることができます。この特別な角の部分はタップ範囲と呼ばれており、この4つの角のタップ範囲、タッチパッドのセンター、2ボタンをそれぞれに機能を割り当ててタッチパッドを7ボタンマウスとして使用することができます！

カスタマイズの例：

タッチパッドを3ボタンマウスのように使用したい場合、左ボタンを真中のボタンのクリックに割り当てます。タッチパッドを軽く叩くと左クリックと同等の働きをすることを思い出してください。そして右ボタンは通常の右クリックです。さらに、タッチパッドの右上隅のタップ範囲に右クリックを割り当てます。タッチパッド表面を見ると右上隅(暗い赤のエリア)のタップは右クリック、タッチパッドの表面部分(灰色の部分)でのタップはすべて左クリックに割り当てられました。

タッチパッドの例

ボタンとタップ範囲には多くの異なる動作を割り当てることができます。その動作はSynapticsタッチパッドデバイスドライバによって実装されます。サードパーティー製のタッチパッドドライバソフトウェアを使用した場合でもそれらの機能は使用できる場合があります。

- **Jump to the Start Button.** Windowsのタスクバーのスタートメニューへジャンプします。自動的にスタートメニューが開かれます。
- **Jump to the current application's menu.** 使用中のアプリケーションの一番左側のメニュー(通常ファイルメニュー)を開きます。
- **Minimize the current application.** 使用中のアプリケーションのウィンドウを最小化します。すでに最小化されている場合は通常のサイズに戻ります。
- **Maximize the current application.** 使用中のアプリケーションのウィンドウを最大化します。すでに最大化されている場合は通常のサイズに戻ります。
- **Run a program of your choosing.** 指定したプログラムを動作させることができます。

これらのカスタマイズを行うためにはマウスのプロパティでButton Actions設定のページを開いてください。

タイピング中にポイントされるアクシデントの防止

意図しないポインタの移動やうっかりタッピングしてしまうという動作はタッチパッドの表面に手のひらや他の部分が偶然に触れた結果起こる場合があります。

タイプ中であれば、カーソルの位置が変わったりしてそれ以降のテキストの場所が違う場所に現れたりしますし、テキストが勝手に反転して置き換えられる可能性もあります。キーボードでタイピングしているときに、このような動作がタッチパッドではたびたび起こります。このような動作を防止することができます。

タイピング中に不必要なポインタの移動が認められる場合、タッチプロパティページでパームチェックスライダーを調節してみてください。スライダーを最大値になるよう右へいっぱい動かしてみてください。タイプ中に偶然手がタッチパッドにこすれてもその動作は殆ど感知されないようになります。

ただし、本来の目的でタッチパッドの真中を叩いても動作しなくなっているかもしれません。その場合、スライダーを最小値になるよう左へいっぱい動かしてください。現在、タイピング中のパッド表面との接触は偶然であるという解釈はされておらず、この動作は無視されません。

スクロールバーを使用しない文書のスクロール

バーチャルスクロールにより、作業中にポインタを動かすことなく文書をスクロールすることができ、非常に効率的です。タッチパッドの右のエッジで指を上下に滑らせることで文書が垂直にスクロールします。同様に、下のエッジで指を左右に滑らせると文書が水平にスクロールします。スクロールバーにポインタを移動する労力は必要ありません。ポインタがどこにあってもスクロールさせることが可能です。

バーチャルスクロールは文書ウィンドウ(ワープロやスプレッドシートなど)や、ファイルリスト、フォントリスト等のスクロールできる部分で動作します。スクロールバーが備わっているウィンドウであればどのようなものでもバーチャルスクロールが可能です。

バーチャルスクロールを使用することでスクロール動作が非常に便利で、滑らかな動作になります。

スクロールバーでマウスを使用してスクロールさせる場合、多くのアプリケーションはマウスボタンを離すまで文書ウィンドウを再描画しません。バーチャルスクロールでは再描画が強制的に行われるので内容が同時にスクロールして文書の内容を探すなどの動作が非常に簡単になります。

バーチャルスクロールをどのようにして使うか?

マウスのプロパティにあるScrollingプロパティ ページでバーチャルスクロール機能を設定します。

文書の拡大・縮小、移動

アプリケーションが拡大・縮小、移動をマイクロソフト製Intellimouseをサポートしているかどうかを注意してください。Intellimouseを認識するアプリケーションでは拡大・縮小、移動が行え、長い文章を素早く操作することが可能になります。文書の中で離れた場所にジャンプする場合は文書を縮小してジャンプします。目的の場所をクリックして拡大します。水平・垂直に同時に動かしたいときは単に斜めに動かすだけです。

ポインタを大きく動かす

もし対象をドラッグしているときやポインタを動かしているときにタッチパッドのエッジに到達してしまったとしてもエッジモーション機能により作業を続行できます。エッジモーション機能は、ポインタを長く動かす作業を補助する機能です。ポインタを動かして(またはバーチャルスクロールによりスクロール中)タッチパッドのエッジに到達しても、ポインタは一度離れた指がまたパッド上で動かされるまで同じ方向に動きつづけます。

エッジモーションは一定の速度で動きつづけ、圧力にも敏感に反応します。パッドを強く押すと、ポインタの移動速度が上がります。

エッジモーション機能はマウスのプロパティでエッジモーション Properties ページを開いて設定します。

ポインタの動作を細かく調整する

Synaptics タッチパッドは、ポインタの動作を容易に調整するために多くの追加機能を備えています。追加機能のリストをよく見てください。

アクセサリ

タッチパッドは改良されたツールで、重要な仕事のために設計されましたが、面白いものでもあります。そこで、タッチパッドの能力を使った面白いアプリケーションを 2 つ収録してあります。それは Pressure Graph and The Incomparable と Mysterious Synaptics MoodPad です。

これらのアプリケーションを動作させるために、タスクバーで一度 Synaptics タッチパッド・アイコンをクリックします。アクセサリメニューから動作させるアプリケーションを選択します。

More About the タッチパッド

タッチパッドは熱や圧力に敏感でなくてもあなたの指を感知します。指がパッドに接近すると、パッド近くの電界が変化します。タッチパッドセンサは、伝導性のトレースマトリクスを持つちょうど表面に印刷された回路のようなものです。タッチパッドの後ろ側にある特別なチップは連続的にこれらの跡を計測して指の存在と場所を決定します。

タッチパッドの能力を最大限に利用するためにはタッチパッドドライバソフトがインストールされている必要があります。Synaptics タッチパッドドライバが正しくインストールされていれば、マウスのプロパティには標準のタブに加えていくつかのタッチパッド用のタブを含んでいます。

スクロール

スクロール プロパティ ページでは、タッチパッドのバーチャルスクロール能力をカスタマイズします。

一部のアプリケーションではバーチャルスクロールを有効にするとスクロールバーをズームバーとして使用することができます。

アクティブウィンドウでバーチャルスクロールを有効にする

必要とするバーチャルスクロールの方式にあわせて適当なボックスをチェックしてください。

- 水平スクロール
- 垂直スクロール
- 惰性を利用

バーチャルスクロールが必要なものを選ぶ

- 選択したアイテムをスクロール
- OR -
- ポインタで示したアイテムをスクロール

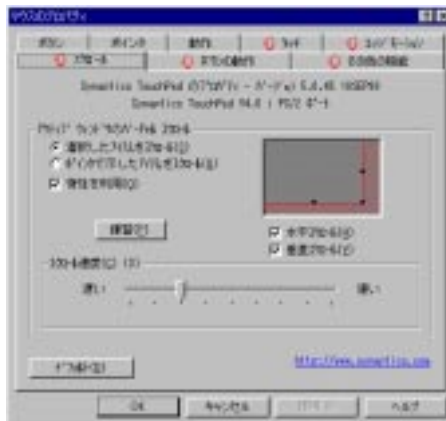
スクロールゾーンのサイズのカスタマイズ

このページでタッチパッドの小さなマップで、暗い赤で示された部分をスクロールゾーンに割り当てます。詳細な描写についてはタッチパッドマップのスクロールゾーンを参照してください。

タッチパッドマップの上で、黒いresizeハンドルをドラッグするとそれぞれのゾーンのサイズを調整することができます。バーチャルスクロール機能を使用するのが難しい場合、スクロールゾーンを広くしてみてください。それほど必要でないと思ったら狭くしてみてください。

バーチャルスクロール速度のカスタマイズ

このページではバーチャルスクロールの速度をスライダーの調節によってコントロールできます。より速くする場合にはスライダーを右に動かします。



ボタンの動作

ボタンの動作 プロパティ ページでは、タッチパッドの4つの角の部分の動作を割り当てます。物理的なボタンもカスタマイズすることができます。詳細についてはボタンとタップのカスタマイズを参照してください。



タップゾーンのカスタマイズ

タップゾーンが有効なとき、タッチパッドのそれぞれに対応する場所の内側のタップはそれぞれ異なる動作を割り当てることができます。例えば、右上角のタップに右クリックを割り当てることができます。そうすれば、タッチパッドの右上の角を指でたたくという動作がマウスの右クリックやタッチパッドの右ボタンを押すのと同じ挙動になります。このページで描かれているタッチパッドではアクティブタップゾーンを赤の網掛けで示してあります。

それぞれのゾーンの隣にはそのゾーンに対応するテキストボックスを示しました。さらに詳しいことはタッチパッドマップのタップゾーンをご覧ください。

カスタマイズするには：

- ・ コーナータップゾーンを有効にするには、Enable タップ 範囲sという表示の隣のボックスにチェックします。チェックされていないときは、タッチパッド表面の全てのタップを左クリックと同じ挙動とみなします。
- ・ 特定のゾーンのアクションを変更するには、テキストボックスを目的のゾーンにもっとも近いところに起きます。テキストボックスはこのゾーンについての現在のアクションを表示します（例えば、No 範囲と表示されたら、この特定ゾーンが無効になっており全てのタップが左クリックと同じ挙動をすることを意味します）。アクションのリストを表示するために、テキストの右側にある下矢印をクリックし、お好みのアクションを選択してください。
- ・ タッチゾーンはタッチパッドマップの黒いリサイズハンドルをドラッグすることでお好みの大きさに広げたり縮めたりすることができます。

ボタン割り当てのカスタマイズ

タッチパッドボタンを、タップゾーンの場合と同じようにカスタマイズすることができます。

カスタマイズするには：

- ・ それぞれのボタンには現在のアクションを示すテキストボックスがあります（例えば、Leftといえ、左クリックまたは1回目のクリックを意味します）。使用可能なアクションのリストを表示するには、テキストの右側にある下矢印をクリックし、お好みのアクションを選択してください。

エッジモーション

エッジモーションプロパティ ページではタッチパッドの長距離ポインタの移動許容量をカスタマイズします。タッチパッドの縁に指を添えたら指をはなすまで、エッジモーション featureによりポインタが移動し続けます。エッジモーション featureについてはMove the Pointer Long Distancesをご覧ください。

エッジモーションを有効にする

有効にしたいエッジモーションのタイプについての適切なボックスをチェックしてください。

- ・ ドラッグ時
- ・ 常時
- ・ スクロール時

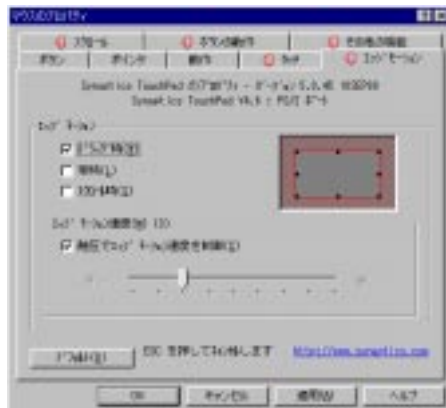
エッジ範囲 マップのカスタマイズ

このページにはタッチパッドのスマールマップが含まれていて、エッジ範囲は赤い網掛けで示してあります。詳細はエッジ範囲タッチパッドマップをご覧ください。それぞれのゾーンタッチパッドマップの黒いリサイズハンドルをドラッグしてサイズを調節することができます。エッジモーション featureの実行中にトラブルが生じたら、エッジ範囲を広げてみてください。

エッジモーション速度のカスタマイズ

エッジモーションでは、ポインタ（またはドラッグするオブジェクトやバーチャルスクロールスクロールサム）の移動速度は圧力感知が一定になります。圧力感知速度では、強く押すほどオブジェクトやポインタが速く移動します。このタイプを選択するには、Control エッジモーション speed with finger pressureというテキストボックスをチェックします。

エッジモーションで一定速度を好まれる場合は、エッジモーション speed スライダーで速度を調節します。



タッチ

タッチ プロパティ ページではタッチパッドのタップレスポンスと感度をカスタマイズします。

タップ

タッチ プロパティ ページのタップ項目でお好みのタップにするために適切なボックスをチェックしてください。

- ・ タップによりクリック
- ・ タップしてドラッグ
- ・ ドラッグ ロック



タッチ感度

タッチ感度スライダではタッチパッドが反応するまでの加圧時間を調節します。

パームチェック

パームチェックスライダでは思いがけないポインタ移動の検出を調節します。タッチパッドのパーム コンタクトに加えて、タイピング時に生じる思いがけないポインタの移動（タッチパッドを予定外に触れてしまったことなどによる）を無視します。さらに詳しいことはPrevent Accidental Pointing While Typingを参照してください。

よくある質問

- Q: バーチャルスクロール使用中、ポインタがスクロールバーを飛び越したり、戻ってきたりします。これは正常ですか？
- A: はい、正常です。
- Q: スクロールバーがあるのにバーチャルスクロールが機能しないウィンドウがあるのはなぜですか？
- A: スクロールするには、バーチャルスクロールがウィンドウのスクロールバーを「見る」ことができないといけません。スクロールバーが部分的に他のウィンドウに隠されていたり、画面からはみ出たりしていると、バーチャルスクロールはそのウィンドウについて無効になります。一般的に、ウィンドウのスクロールバーが全部画面上に存在し、完全に見えていないとバーチャルスクロールは使えません。このルールには例外があります：バーチャルスクロールは多くのタイプのウィンドウについての「特別の知識」があり、この知識を使って多くのウィンドウをスムーズスクローリングできるように「騙し」ます（例えば、Microsoft Wordのドキュメントウィンドウは、通常はスムーズスクロールしませんが、バーチャルスクロール使用中はスムーズスクロールします）。バーチャルスクロールは特定のタイプのウィンドウについては「知識」がないのですが、タッチドラッグを遅くしたり止めたりすることで近似的なスムーズスクロールを行います。これによりドキュメントの適切な位置に正確にスクロールすることができます。
- Q: 幾つかのウィンドウはスムーズにスクロールするのに、他のウィンドウはコンテンツを置き換えるだけなのはなぜですか？
- A: ウィンドウのスクロール方法はアプリケーションに完全に依存しています。幾つかのアプリケーションではスムーズスクロールを行います。その他のアプリケーションではスクロールバーからポインタを放すまでコンテンツを置き換えません。バーチャルスクロールは一般的なアプリケーションとウィンドウのタイプを「知って」おり、この知識を使って多くのウィンドウをスムーズスクロールするように「騙し」ます（例えばMicrosoft Wordのドキュメントウィンドウは通常スムーズスクロールしませんが、バーチャルスクロール使用中はスムーズスクロールします）。バーチャルスクロールが特定のタイプのウィンドウを「知らない」時には、ドラッグが遅くなったり止まったりしたときにウィンドウを表示し直すことにより、近似的にスムーズスクロールを実現します。これにより、ドキュメントの適切な位置を正確にスクロールすることができます。
- Q: スクロール中にスクロールサムがときどきジャンプしたり、ポインタが示すところと違うところに行くのはなぜですか？
- A: やはり、アプリケーションはスクロールサムの移動について完全にコントロールしています。ウィンドウ内容によって、アプリケーションは実際のスクロールサムの位置にスクロールするのを妨げます。ときどき、スクロールサムはスクロールバーの中の1-2個所で「休む」ことを許されています！この様な場合には、ポインタでスクロールサムを手動ドラッグしても、最終地点に「ジャンプ」することになります。バーチャルスクロールでは、残念ながら、アプリケーションがスクロールバーをどのように管理するのかを制御することはできません。
- Q: バーチャルスクロールはMicrosoft Internet Explorerでは適切に働かないのはなぜですか？
- A: Internet Explorer version 4.01以降を使用されていることを確認し、Internet Explorerプロパティダイアログの詳細設定で、スムーズスクローリングオプションの使用がチェックされていないことを確かめてください。

PC-CILLIN 98

Topics Covered:

PC-cillin 98 Features

What are Computer Viruses?

Methods of Virus Scan

Actions on Virus Found

What are Virus Pattern Files?

Real-time Monitor

WebTrap

Manual Scan

Scan Window

Manual Scan

PC-cillin 98の特徴

高速で簡単な操作

リアルタイムウイルス監視機能とメモリ常駐型手動ウイルス探知機能を別体にしました。これによりファイルやディスクのウイルス探知を必要なときにいつでもできるようになり、常駐メモリの節約にもなります。

また、プログラムの操作性の向上により、従来バージョンであるPC-cillin II/PC-cillin 97より197%ものスピードアップを実現しました（当社ベンチマークテストに基づきます）。

MacroTrap - 未知のマクロウイルスも探知

最近では、E-メール添付ファイルを介してシステムに感染するマクロウイルスがますます増加しています。私たちが自信を持ってお奨めするMacroTrapは、このようなマクロウイルスを探知・駆除するだけではなく、未知の新系統マクロウイルスをも捕えます。

WebTrap - 悪質なJavaアプレットやActiveXコントロールをブロック

PC-cillin は、悪質なJavaアプレットやActiveXコントロールが、Internet ExplorerやNetscape Navigatorなどのwebブラウザを介してダウンロードされるのをブロックするWebTrap機能を持っています。

インターネットでアップデート

ウイルスパターンファイルをインターネットやフロッピーディスクからアップデートできます。

圧縮ファイルとE-メールのファイル添付も適切に処理

PC-cillin 98は、添付ファイルや圧縮ファイルを開かないままでウイルス探知することができます。PC-cillin 98はE-メール添付書類の3つのフォーマットと圧縮ファイルの12のフォーマットを処理できます。

圧縮ファイルのフォーマット

PKZIP, ARJ, LHA, TAR, GNU-ZIP, UNIX ZIP, UNIX compress,

MS-compress, PKLITE, LZEXE, DIET, Cabinet

E-メール添付ファイルのフォーマット

Uuencode, MIME, BinHex

ユーザーインターフェース

ユーザーインターフェースを一新しました。デザインが新しくなってより一層使い易くなりました。

コンピュータウィルスって何？

コンピュータウィルスは、OSファイルや実行ファイル、ブートセクタやパーティションテーブル、そしてMicrosoft WordやExcelなどのアプリケーションのデータファイルに入り込む、実行コード（プログラム）のひとつです。ウィルスには自己複製するという特性があり、ときにはシステムに負荷やダメージルーチンを与えます。ダメージルーチンとはウィルス性のプログラムで、活性化されると、データを破壊したりメッセージや画像イメージを表示したり、音楽を演奏することもあります。ダメージのタイプや程度はウィルスによって様々です。いくつかのウィルスはただ複製するようにプログラムされているだけですが、それでもシステムパフォーマンスに重大な問題を引き起こすかもしれないのです。

コンピュータウィルスのタイプ

- ・ ブートセクタウィルス
- ・ 寄生ウィルス
- ・ 分割ウィルス
- ・ 上書きウィルス
- ・ 直接実行ウィルス
- ・ TSRウィルス
- ・ ステルスウィルス
- ・ 突然変異型、多型ウィルス
- ・ ネットワークウィルス
- ・ マクロウィルス

ウィルススキャンの方法

PC-cillin 98は3種類のウィルススキャン方法を提供します：manual scan, prescheduled scan, およびreal-time scan。

Manual Scan

PC-cillin 98は手動スキャンを実行するたびに特定のドライバやフォルダをスキャンします。設定でPassが選択されていない限り、発見されたウィルスに対する処置は自動的に行われます。

Prescheduled Scan

PC-cillin 98は特定の時間・日付に開始し、バックグラウンドでスキャンを実行します。この機能を使うには、コンピュータの電源オン状態でReal-time Monitorが有効である必要があります。

Real-time Scan

ファイルが入出力される前に自動的にスキャンし、発見したウィルスを駆除します。リアルタイムスキャンは常にウィルス进行をスキャンし、システムに悪影響を及ぼす前にウィルスの活動を妨げます。

発見したウイルスに対する処置

PC-cillin 98で発見したウイルスには、以下の4つの項目から選択された処置がなされます：

Access Denied

何も処置されません。ウイルス感染ファイルにたいする矯正処置を選択します。

Clean

ウイルスをファイルから一掃します。

Delete

感染したファイルを削除します。

Rename

感染したファイルが二度と実行されないように、拡張子を変更します。

Move

感染ファイルを特定のフォルダに移動します。

ウイルスパターンファイルって何？

パターンマッチング方法ではウイルスを探知するためにウイルスパターンを使います。これにはコンピュータウイルスの存在を示す特定のパターンのデータベースを用います。このデータベースを含むファイルをウイルスパターンファイルと呼びます。コンピュータを新たなウイルスから守るために、このファイルをときどきアップデートする必要があります。

PC-cillin 98は、ウイルスパターンファイルやプログラムを、インターネットのBBSやフロッピーディスク、CD-ROMから自動的にアップデートします。

Real-time Monitor

PC-cillin 98をインストールすると、システムを起動するたびにReal-time Monitorが自動的に実行されます。タイトル画面が表示され、タスクバーに入ります。タイトルウィンドウを表示するためにタスクバーのPC-cillin 98アイコンをダブルクリックしてください。タイトルウィンドウのMainボタンをクリックするとPC-cillin 98アプリケーションが起動します。

Real-time MonitorがONになっていると（青いアイコン）、出入りする全てのファイルを監視します。感染ファイルが実行されそうになったり開かれそうになると、Real-time Monitorは警告を表示しファイルの操作を停止します。

WebTrap

PC-cillin は、インターネットウィルス（不正なJavaアプレットやActiveXコントロール）が、知らないうちにダウンロードされるのをブロックするWebTrap機能を持っています。インターネットのTrend Microから、ウィルスパターンファイルやスキャンエンジンプログラムをアップデートしたり、最新情報を得ることができます。

WebTrapをセットアップするには、設定バーのインターネットアイコンをクリックするか、設定メニューからインターネットを選択します。WebTrap設定の変更後は、全てのブラウザを閉じて再実行します

2つ以上のブラウザを使用している場合は、これらの非デフォルトブラウザについての設定を手動で変更しなければなりません。以下にその方法を説明します。

Internet Explorerについて

1. スタート 設定 コントロールパネルを選択してコントロールパネルを開き、インターネットアイコンをダブルクリックします。
2. コネクションタブをクリックし、プロキシサーバ設定をチェックします。詳細ボタンをクリックしてプロキシ設定ウィンドウを表示します。
3. プロキシアドレスとポートを入力してプロキシ設定を終了します。
4. OKをクリックしてプロキシ設定ウィンドウを閉じます。再びOKをクリックしてインターネットプロパティウィンドウを閉じます。

PC-cillin 98インストール後にインターネットに接続できなくなった場合は、プロキシ設定をチェックしてください。インストールの間に幾つかのプログラムがブラウザのプロキシ設定を変更していることがあります。プロキシ設定をPC-cillin 98の元の設定に戻してみてください。

WebTrapはReal-time MonitorがONのときにのみ機能します。

Manual Scan

Scan Nowボタンをクリックするとスキャンするドライバやフォルダを選択できます。Scan MacroボタンをクリックするとMicrosoft WordやExcelのファイルについてのマクロウィルスをスキャンします。Scan Bootボタンをクリックするとフロッピーディスクをドライバに挿入するたびにフロッピーディスクのブートセクタをスキャンします。

詳しい情報はそれぞれの項目をクリックしてご覧ください。

Scan Macroは、ローカルディスク（フロッピーディスクドライバを含む）上にあるMicrosoft WordやExcelのテンプレートファイルをスキャンします。このスキャンオプションではフォルダは選択できません。

Scan Macroボタンをクリックすると、全てのローカルディスクのスキャンが開始されます。ネットワークディスクが割り当てられていると、それもスキャンされます。ネットワークディスクデバイスは全てのローカルディスクのスキャンが終わった後にスキャンされます。

発見されたウイルスに対する処置は、手動スキャン設定ウィンドウでセットアップできます。クリーン、削除、リネーム、移動の中から1つを選択すると、自動的に処置が行われます。この処置は終わることがありません。アクセス拒否を選択すると、PC-cillin 98は感染ファイルの処理をおこないません。

Scan Window

スキャン中はスキャンウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、スキャン状態、発見されたウイルス、感染したファイルネームを見ることができます。

発見されたウイルスに対する処置オプションでClean, Delete, Rename, Move,の中から1つを選択すると、中央の4つのボタンが無効になります。

If発見されたウイルスに対する処置オプションでAccess Deniedを選択すると、ウイルスが発見されたときにこれらの4つのボタンが有効になります。感染されたファイルを選択し、ご希望の処置のボタンをクリックしてください。

Manual Scan

手動スキャンを行うファイルを設定アップします。このウィンドウでウイルスが発見されると処置が行われます。

APPENDIX

収録項目：

新しいハードディスクドライバを使う

Save-to-Diskを使う

MS-DOSでのCD-ROMサポート

モデムATコマンド設定

モデムトラブルシューティング

接続に関する規約

適合についての記述

新しいハードディスクドライバを使う

新しいハードディスクドライバを購入された場合、販売店で設定した場合を除いて、ハードディスクにはパーティションが仕切られていません。パーティションはデータのアクセスに必要です。アクセス可能なパーティションはそれぞれ独自のドライブ名をもちます。CD-ROMのドライブ名はそれらの最後に追加されます。

注：パーティションを仕切られていないハードディスクドライブは初期化できません。ハードディスクの初期化ではパーティションをはずすことはできません。

起動ディスクの作成

ハードディスクドライブにアクティブなシステムパーティションが存在しない場合、コマンドプロンプトを入力するには起動可能なシステムディスクが必要です。起動フロッピーディスクを作成するには、DOSプロンプトでFORMAT A:/Sと入力するか、(マイコンコンピュータから)Windowsフォーマットを選択してシステムファイルのコピーをチェックします。FDISK.EXEと、Windows95かWindows98のC:\%WINDOWS%\COMANDディレクトリから他のDOSユーティリティをコピーしてください。通常、幾つかのユーティリティは、AUTOEXEC.BATとCONFIG.SYSなどのシステムファイルを含むディスクを介してメモリマネージャを使用することができないため、起動ディスクにはこれらのシステムファイルをコピーすることはできません。

FDISK.EXEユーティリティの使用

FDISK.EXEユーティリティではハードディスクドライブへのパーティションの追加・削除が行えます。このユーティリティはハードディスクドライブが新品で初期化されていない時のみ使います(ハードディスクドライブが初期化できる状態とは、少なくとも1つのパーティションがあることを意味します)。ハードディスクドライブを初期化した後はこのユーティリティは使用しません。必要なパーティションを削除しないように注意してください。そのパーティションを回復することはできなくなります！

1. FDISK.EXEユーティリティを使ってシステムフロッピーディスクから起動します
2. A:¥>プロンプトからFDISKと入力し<Enter>キーを押します。
3. 最初のパーティションを作成し、次の表示メニューに従ってアクティブにします。さらに他のパーティションが必要な場合も同様に作成します。

ハードディスクドライブの初期化

ハードディスクドライブの初期化ではひとつのパーティション上のデータを全て消去します。他のパーティションのデータを消去するには、フォーマットユーティリティ使用中に消去したいパーティションのドライブ名を指定します。/Sコマンドでシステムファイルを他のパーティション上に移動し、初期化後も起動できるようになります。FORMAT/と入力すると他のオプションのリストが表示されます。

1. FORMAT.COMユーティリティを使ってシステムフロッピーディスクから起動します。
2. A:¥>プロンプトからFORMAT C: /Sと入力し<Enter>キーを押します。
3. Yと入力し、初期化を確認するために<Enter>キーを押します。
4. ボリュームラベルを入力し、<Enter>キーを押します。

Save-to-Diskの使用

Save-to-Disk機能を使うにはBIOSセットアップのPowerメニューでSave-to-Diskがサスペンドモードに設定されている必要があります。PHDISKユーティリティを使うといつでもSave-to-Diskファイルやパーティションを作成・削除できます。

Save-to-Diskパーティションはハードディスクドライブ上に固有の容量を確保します。このハードディスクはSave-to-Diskファイルより優先度の高い他の目的で使用することはできません。Save-to-Diskパーティションはユーザ側からは設定変更できないのでドライブ名を持ちません。Save-to-Diskパーティションには、パーティション管理ユーティリティで最初にセットアップするときに作成した、パーティションで仕切られていない空きスペースが必要です。Save-to-Diskパーティションの容量制限は最初のセットアップ時にパーティション管理ユーティリティにおいてディスク上のパーティションが割り当てられていない容量になります。

Save-to-DiskファイルはPHDISKでサポートされる新しい特徴です。PHDISKはカレントパーティション上にSAVE2DISK.BINと呼ばれる見えないファイルを作成します。このファイルは他のファイルやパーティションに何の影響も及ぼしません。

PHDISKはシステムメモリとビデオメモリのサイズを足したものより若干大きなスペースを確保します。しかしその後のメモリアップグレード時にはSave-to-Diskファイルやパーティションを削除し、メモリ上に保存した追加データの容量にあわせたサイズに作成し直す必要があります。

Save-to-Diskパーティションの作成

Save-to-Diskパーティションは次の手順で作成できます：

1. サポートCDから"PHDISK.EXE"をハードディスクまたはフロッピーディスクにコピーします。
2. DOS環境に入って"PHDISK.EXE"と同じディレクトリ内で"PHDISK /CREATE /PARTITION"と入力します。

Save-to-Diskファイルの作成

Save-to-Diskファイルは次の手順で作成できます：

1. サポートCDから"PHDISK.EXE"をハードディスクまたはフロッピーディスクにコピーします。
2. DOS環境に入って"PHDISK.EXE"と同じディレクトリ内で"PHDISK"と入力します。
3. "1"と入力してファイル作成を実行します。
4. Save-to-Diskファイルサイズには、表示されている最小値より大きい値を入力します。
5. "Save to File Information:"を読んでSave-to-Diskファイルを確認し、"4"と入力してユーティリティを終了します。

注： Save-to-DiskファイルとSave-to-Diskパーティションの両方が存在する場合には、Save-to-Diskファイルを使用してください。しかしハードドライブの容量を取り戻すためにはこのうちのどちらかを削除してください。

MS-DOSによるCD-ROMサポート

注：起動CDから起動するには、BIOSセットアップで"AタップI CD-ROM Drive"を起動項目の1番目に設定してください。

空のハードディスクドライブにOSをインストールするときには、CD-ROMドライブを使用するためにDOSリアルモードCD-ROMドライバがCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATファイルに存在する必要があります。一方、フロッピーディスクドライブはデバイスドライバがなくても使うことができます。

CD-ROMデバイスドライバは下に示すように工場出荷時にあらかじめ設定されています。ハードウェアやソフトウェアはメーカーによって常に改良されているので、本ユーザーマニュアルに示されている例はお使いになられているNotebook PCに一致しないことがあります。

CONFIG.SYS: DEVICE=C:¥CDROMDRV.SYS /D:OEMCD001

AUTOEXEC.BAT: MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /L:D

CD-ROMドライバはサポートCDの¥CDROM¥TEACか¥CDROM¥TOSHIBA¥にあります。CD-ROMのメーカーによりTEACかTOSHIBAのいずれかを使用してください。

Windowsの起動ディスク

Windows98の起動ディスクは1枚のフロッピーディスクに全てのCD-ROMドライバが詰め込まれているため、DOS環境でCD-ROMにアクセスするのにもっとも簡便なソリューションです。起動ディスクから起動したら、CD-ROMは自動的に有効になります。起動ディスクは**コントロールパネル**中の**プログラムの追加と削除**から作成してください。



コントロール
パネル



アプリケーション
の追加と削除



注：外部ハードドライブ専用に使われたPCMCIAカードの使用は、DOS環境ではお奨めしません。DOS環境の使用が必要な場合は、PCMCIAカードのドキュメントをよく読むか、販売店にお問い合わせください。

Microsoft Windows 98

Microsoft Windows 98はNotebook PCにあらかじめインストールされています。インストールや設定変更が必要なときには、Windows 98 OSのドキュメントをお読みください。Windows 98がひとたび実行されると、DOSリアルモードCD-ROMドライバのかわりにWindows 98 CD-ROMデバイスドライバを使用することになります。DOSドライバは性能が悪く、メモリ管理能力が低く、他のデバイスにコンフリクトを引き起こす可能性があります。

DOSリアルモードCD-ROMドライバの削除

デバイスラインの削除やラインの前への"REM"の追加（上記・下記のケース）により、DOSドライバを無効にしてWindows 98独自のCD-ROMデバイスドライバが使用できるようになります。Windows 98は次のAUTOEXEC.BAT中のDOS CD-ROMドライバの前に"REM"を追加します：

```
CONFIG.SYS:    rem - By Windows Setup - DEVICE=C:¥CDROMDRV.SYS /D:  
OEMCD001
```

```
AUTOEXEC.BAT: rem - By Windows Setup - MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /L:D
```

Windows 98セットアップ実行中には、リアルモードドライバをチェックして、検索できないファイルを削除するためのウィザードを実行します。これらの2つのラインが存在しており、その前に"REM"を持たないときには、Windowsから供給されているNOTEPAD.EXEかDOSから供給されているEDIT.COMでファイルを開いて自動的に追加されます。あるいは単純にこれらの2つのラインを削除してください。

赤外線接続に関する注意

ワイヤレス接続やネットワーク用の赤外線ポートに障害が生じたら、次の手順を実行してください。



マイコンピュータ



コントロール
パネル



ネットワーク
コンピュータ

1. コントロールパネルのネットワークアイコンをダブルクリックします。



接続に関する規約（Notebook PCとモデム）

FCC規約

以下の記載事項はFederal Communications Commission (FCC) の規約によるものです。モデムをインストールする前にこれらの記事をよくお読みください。

FCC規約第68項

本装置はFCC規約の第68項を受諾しています。装置の下部にはFCCレジストレーションナンバーとRinger Equivalence Number (REN) を記載したラベルが貼られています。必要が生じたら、この情報を電話会社にお知らせください。

RENには呼び出しに応じて鳴る電話回線に接続しているデバイスの最大値が使われます。全てではありませんが多くの地域では、ひとつの回線に接続しているデバイスの数すなわちRENの合計値は5（5.0）を越えてはいけません。合計値を知るにはお住まいの地域の電話会社にお問い合わせください。

お使いの電話機が電話ネットワークに害を引き起こす場合、電話会社は一時的に電話サービスを停止することがあります。この様なときは、あらかじめ電話会社から通知がきます。通知が実際になくても、できるだけ早急にお知らせが来ます。このときユーザーにはFCCに基づく不平を提唱する権利があることを知らされます。

電話会社はユーザーの装置の操作に影響を及ぼした設備、装置、操作や手順を変更することができます。この様な場合、サービスを一時中断されずに維持し続けるために必要な変更を行うようにとの連絡が前もってなされます。

本装置をお使いの間にトラブルが生じたら、本マニュアルに記載されている製造業者にご連絡ください。電話会社は、障害が改善されるかこの装置が故障していることが明らかになるまで、この装置をネットワーク接続からはずしていたかどうかを訪ねるかもしれません。

本装置は公衆電話からの使用はできません。パーティーラインへの接続には別料金がかかることがあります。

適合についての記述（Notebook PCとモデム）

本装置はテストの結果、FCC規約の第15項に従ったクラスBデジタル装置の制限に適合していることが明らかになっています。これらの制限は常駐型インストールにおける有害な干渉から合理的に保護されるように設計されています。本装置はラジオ周波数エネルギーを発生したり放射したりしますが、指示通りの方法でインストールしなかったりご使用にならない場合には、ラジオコミュニケーションに有害な干渉を引き起こす恐れがあります。しかし、そのような干渉が、特定のインストール方法で発生しないという保証はありません。もし本装置がラジオやテレビの受信に悪影響を及ぼしたら、以下の処置の少なくともひとつを実行して干渉を解消してみてください：

- ・受信アンテナを設置し直す。
- ・装置とアンテナの距離を大きくする。
- ・アンテナが接続されている回路から離れたコンセントに装置を接続する。
- ・販売店やラジオ/テレビの専門家に相談する。

警告！パーティが責任を負うことを承認できないような変更・改造は、ユーザの装置を使う権利を無効にすることがあります。

Canadian Department of Communication(CDOC)

注：Canadian Department of Communicationラベルは保証された装置であることを確認するためのものです。この保証は、その装置が電話コミュニケーションネットワークが要求する条件に適合することを意味します。販売店は、装置がユーザの満足のいかに動作するかどうかを保証していません。

この装置をインストールする前に、ユーザは電話コミュニケーションへの接続が許可されているかどうかを確認してください。また、装置はコミュニケーション側が受け入れられる方法でインストールされなければなりません。幾つかのケースでは、電話会社の内部で個人サービス用の単線から電話回線コードを使った延長がなされているかもしれません。上記の状態の適合が特定の状況におけるサービスの低下を妨げることはありません。

保証された装置の修理は供給元が設計したCanadian maintenance facilityに基づいて行わなければならないかもしれません。ユーザが施した修理や改造により、電話会社から接続を拒否されるおそれがあります。

ユーザは、自己保護のために、パワー・ユーティリティや電話線、内在性の金属水道管系が相互に接続されていることを確実に知っておく必要があります。この様な予備的な措置は、特に農村地帯で重要でしょう。

警告！ユーザはこれらの接続を自ら試みようとしてはいけません。電子関係の専門家や技術者にご連絡ください。